

# 梶田氏ノーベル賞



発行所  
山形新聞社  
山形市旅籠町2-5-12  
電話 代表023 (622) 5271  
Copyright (c) 2015  
Yamagata Shimbun

2015年  
10月6日  
〈火曜日〉

速報版 電子

やましん e聞

特別号外

■やまがた  
ニュースオンライン  
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ  
yamagata-np.jp  
/mobile/



詳しくは山形新聞を  
ご覧ください。

## 物理学 ニュートリノ質量発見 大村氏に続き受賞ラッシュ

【ストックホルム共同】スウェーデンの王立科学アカデミーは6日、2015年のノーベル物理学賞を、質量がゼロと思われていた素粒子ニュートリノに質量があることを見つけた梶田隆章・東京大宇宙線研究所長（56）ら2人に授与すると発表した。

5日に医学生理学賞 シュ。日本人受賞者は身教授（86）ら3人がに決まった大村智北里 計24人となる。物理学 独占した昨年から連続受賞で、日本の物理学の實力を示す快挙となった。

梶田氏は、02年に物理学賞を受賞した小柴昌俊東京大特別栄誉教授（89）の教え子で、一つの研究チームから2度の受賞は日本で初めて。宇宙の謎の解明に挑む日本のニュートリノ研究が、再び最高の栄誉に輝いた。ニュートリノは、宇宙に存在する最も基本的な粒子の一つで、どんな物質もすり抜ける。梶田氏は、岐阜県飛騨市の地下にある観測装置スーパーカミオカンデで、3種類あるニュートリノが違う種類に変身する「振動」という現象を発見し、ニュートリノの質量の存在を確かめた。理論に修正を迫る歴史的な成果と評価された。授賞式は12月10日にストックホルムで開かれ、賞金800万クロナ（約1億2千万円）が2氏に贈られる。



2010年5月、ニュートリノの質量の発見で笑顔で応える梶田隆章氏

梶田 隆章氏（かじた・たかあき）1959年3月9日、埼玉県生まれ。県立川越高校卒業。81年、東京大大学院の小柴昌俊氏の研究室に進み、カメラカンデ実験に加わった。86年大学院博士課程修了。東京大理学部助手、東京大宇宙線研究所の助手、助教を経て99年教授。スーパーカミオカンデの建設に携わり、観測時はデパート解析責任者として日米の研究者を率いた。98年6月、岐阜県高山市の国際会議で「ニュートリノ振動の発見」を発表した。08年4月から東京大宇宙線研究所所長。99年仁科記念賞。56歳。

購読・試読のお申し込みは▶  
フリーダイヤル 0120-81-8040